

（目的・目標年次）

都市計画は、土地利用や道路・公園などの都市施設、市街地の整備などの計画を定め、都市の健全な発展と秩序ある整備をはかることにより、安全・安心・快適で活力と魅力ある都市づくりの実現をめざすものである。平成 37 年（目標年次）の推計人口約 150 万人が、安全・安心・快適に暮らすとともに、国内外から多様な人・物・情報などが集い、交流することができる神戸の都市空間の将来像を長期的な見通しをもって示すことで、市民・事業者などと行政が一体となって、その実現をめざすため、都市計画マスタープランを策定する。

第 1 章 都市計画マスタープラン策定の背景

1. 神戸の都市概況 3 ページ

- ・広域的な位置づけ：国際港都、周辺都市の母都市
- ・地形・自然・気候
- ・人口、産業
- ・神戸の都市空間づくりのあゆみ
- ・都市空間の現状と残された課題

2. 都市を取り巻く社会経済情勢の変化 5 ページ

- ・人口減少・超高齢化の進行
- ・ライフスタイルや価値観の多様化
- ・地球温暖化への取り組み
- ・経済のグローバル化の進行
- ・地方分権と市民参画の進展

3. これからの都市計画に求められる視点 6 ページ

- 成長社会から成熟社会への転換期
- 社会経済情勢の変化

きめ細やかに都市空間の質を高める視点

- ・暮らしやすさ：誰もが安全・安心・快適に住み続けられるまちをつくる
- ・環境との共生：環境への負荷をおさえ自然と調和する
- ・まちの活力：人・物・情報の交流・融合により経済を活性化
- ・まちのデザイン：神戸のもつ多彩で魅力的な個性を磨いて活かす

「重点を絞ってつくる」「有効に活かす」ことで都市空間をマネジメントしていく視点

- ・戦略性：戦略的に都市の活力・魅力を創造する
- ・柔軟性：社会の変化や多様なまちづくりの動きに対応していく
- ・協働と参画：協働と参画により地域のまちづくりを進める

第 2 章 2025 年(平成 37 年)の都市空間像

1. 都市空間像の考え方 7 ページ

【定義】

- 「都市空間」：様々な活動の場となる都市全体の空間。
- 「都市構造」：都市空間の骨組み。(土地利用・自然環境・交通ネットワーク)
- 「地域空間」：地域の住民が「わがまち」と認識する範囲。

- ① 現在ある都市構造を活用し都市の機能がコンパクトに集積された都市空間を目指す。
- ② きめ細やかに都市空間の質を高めるため、地域ごとに協働と参画により地域空間をつくりあげる。
- ③ 多様な地域空間の集まりとして都市空間を構成する。

現在の都市空間を再編する

安全・安心・快適で活力と魅力ある持続可能な都市空間像を描いていく。

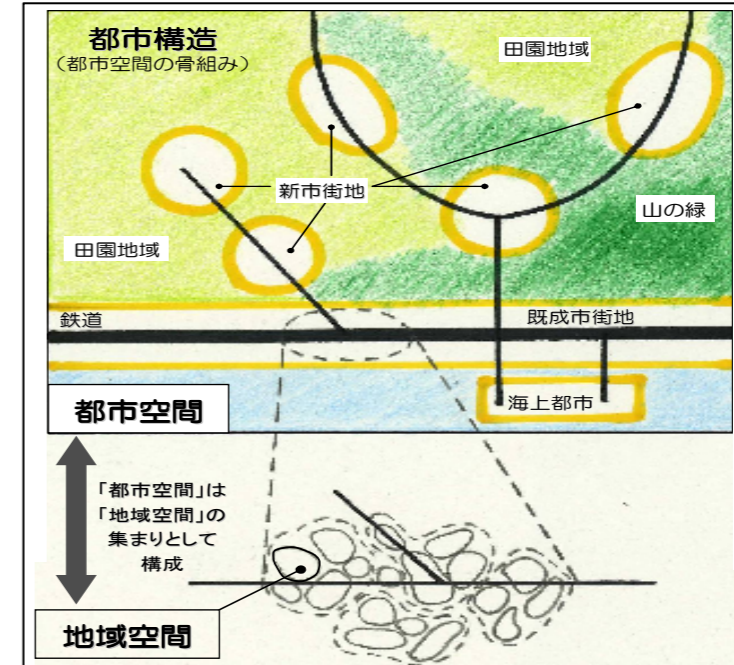
2. めざす都市空間 7 ページ

- ① あらゆる災害に備え、暮らしや経済活動を支える安全な都市空間
- ② 人と環境にやさしい都市空間
- ③ 活力を創造する都市空間
- ④ デザインの視点で磨かれた魅力ある都市空間

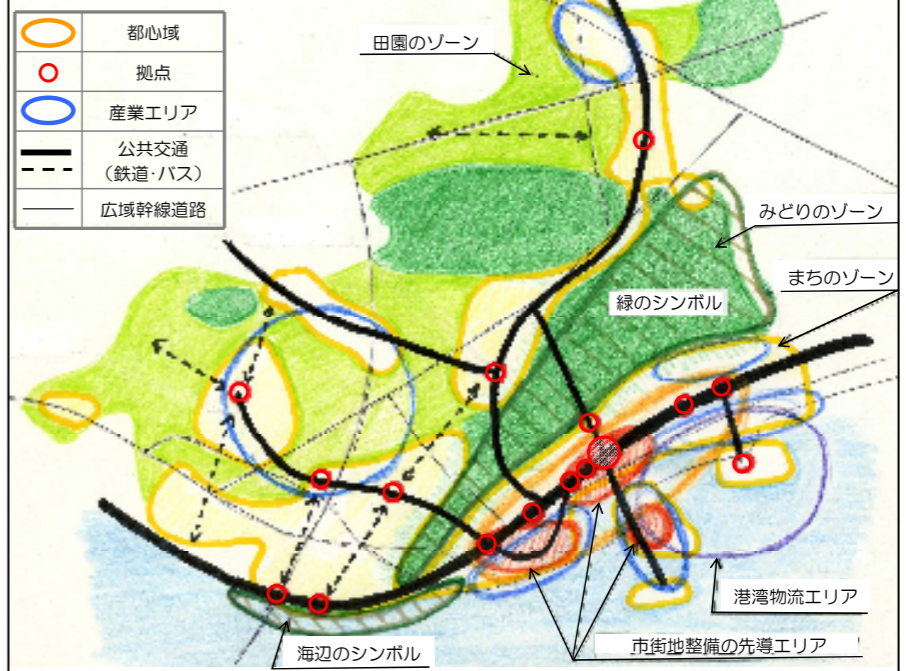
3. 将来の都市構造 8 ページ

- ① 鉄道等の公共交通を中心に都市機能がコンパクトにまとまった都市構造
- ② 神戸の重要な産業を支える都市構造
- ③ 神戸の魅力を創造するエリアや拠点を戦略的に配置した都市構造
- ④ 海や山などの豊かな自然環境と共生した都市構造
- ⑤ 陸・海・空の総合的な交通ネットワークが効率よく機能する都市構造

【都市空間像の考え方】



【都市構造の考え方】



第3章 都市計画の方針

1. 土地利用 13 ページ

- ① まちのゾーン
 - ・都市機能が高度に集積した市街地やゆとりのある市街地などの戦略的な形成
 - ・きめ細やかな土地利用の誘導による地域ごとの暮らしやすさや活力の向上
 - ・多様な都市機能が集積し複合した都心域の形成
- ② 田園のゾーン
 - ・良好な田園環境の保全・育成と、協働と参画の里づくりによる集落の活性化
- ③ みどりのゾーン
 - ・良好な緑地環境の保全・育成と、森林レクリエーションなどの市民利用の促進

2. 都市交通 16 ページ

- ① 低炭素都市づくりを実現する交通環境の創出
「総合交通ビジョン」の策定
- ② 広域的な人の交流を支える陸・海・空の総合的な交通ネットワークの形成
- ③ 地域の暮らしを支える人にやさしい交通環境の形成
- ④ 都心域の交通利便性や回遊性・結節性を高める魅力的な交通環境の形成
- ⑤ 神戸港や産業エリアなどの物流機能を支える広域幹線道路ネットワークの形成

3. 市街地・住環境の整備 18 ページ

- ① 戦略的な市街地の整備による都市空間の再構築
既存ストックや低・未利用地の有効活用、施設の更新など。
[先導エリア]
都心・ウォーターフロント、ポートアイランド、兵庫南部・長田南部
- ② 多様な地域固有の資源や魅力をまもり、活かす、きめ細やかな住環境の整備改善
[主要なテーマ]
密集市街地、山麓市街地、商店街・小売市場、ニュータウンなど

4. 緑・環境 19 ページ

- ① 低炭素都市の実現に向けた環境負荷の少ない都市構造の形成
- ② 良好な緑地環境や水環境の保全・育成と風の道の形成
- ③ エネルギーの効率的な利用による環境にやさしいまちづくり

5. 都市の安全・安心 20 ページ

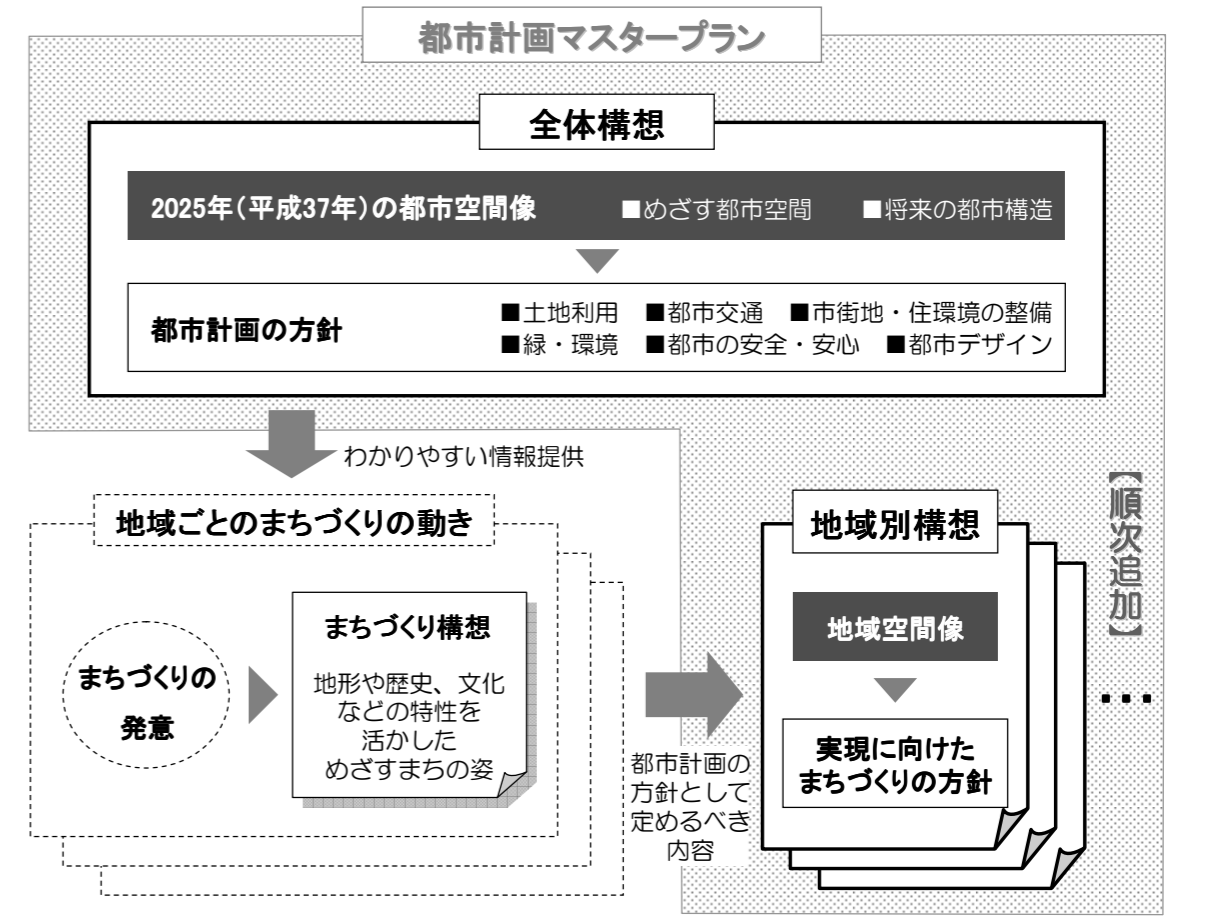
- ① 都市基盤施設の適正な維持管理・機能強化
- ② 防災施設の整備とあわせて、土地の使い方の工夫などによる都市の防災機能の向上
- ③ 市民、事業者、行政の協働と参画による地域の安全性の向上

6. 都市デザイン 21 ページ

- ① 神戸固有の多彩で特色あるまちなみ景観や、海・まち・山を望む眺望景観の形成
- ② 緑や水などの自然環境と共生した、うるおいとやすらぎのある空間づくり
- ③ 多彩な歴史・文化・観光資源を活用して新たな集客・観光を推進する空間づくり
- ④ あらゆる人々が暮らしやすく訪れやすいユニバーサルデザインの空間づくり
- ⑤ 地域が醸成してきたまちの魅力を支え、磨きあげていくしくみの充実

第4章 協働と参画による地域のまちづくり

- ・きめ細やかに都市空間の質を高めていくためには、地域ごとに、協働と参画によるまちづくりに取り組むことが、これまで以上に求められる。
- ・地域ごとに、地域特性を活かして、協働と参画により、順次、めざすまちの姿である「地域空間像」をつくりあげ、その実現に向けたまちづくりを、都市計画マスタープランの「地域別構想」としていく。
- ・多様な地域のまちづくりの担い手の参加を促し、まちの資源や魅力をまもり、磨いていく自律的な取り組み（エリアマネジメント）の充実をはかる。



第5章 都市計画マスタープランの実現に向けて

- (1) 情報を市民にわかりやすく提供し、めざす都市空間の将来像や都市計画の方針などを共有することにより、協働と参画によるまちづくりを推進。
- (2) 都市計画マスタープランの実現に向けた重点施策
 - ① 「土地利用誘導方針」
 - ② 「都市計画道路整備方針」
 - ③ 「密集市街地再生方針」
- (3) 今後の社会経済情勢の変化に対応するため、都市計画マスタープランの進捗状況の定期的な検証・評価と、必要に応じて見直ししくみを取り入れ柔軟に更新する。